

項目	表示形式	対象年度	具体内容
<b>自治体排出量カルテ① CO<sub>2</sub>排出量の現状把握</b>			
○地方公共団体の部門・分野別CO <sub>2</sub> 排出量（標準的手法）			
1) 部門・分野別CO <sub>2</sub> 排出量構成比 平成17年度（2005年度）	円グラフ	2005年度	・標準的手法に基づくCO <sub>2</sub> 排出量推計データの部門・分野別排出量を集計
2) 部門・分野別CO <sub>2</sub> 排出量構成比 平成25年度（2013年度）	円グラフ	2013年度	・標準的手法に基づくCO <sub>2</sub> 排出量推計データの部門・分野別排出量を集計
3) 部門・分野別CO <sub>2</sub> 排出量構成比 令和5年度（2023年度）	円グラフ	2023年度	・標準的手法に基づくCO <sub>2</sub> 排出量推計データの部門・分野別排出量を集計
4) 部門・分野別CO <sub>2</sub> 排出量の推移	積上げ縦棒グラフ	2010～2023年度	・2010年度以降の部門・分野別CO <sub>2</sub> 排出量の推移
5) 部門・分野別CO <sub>2</sub> 排出量構成比の比較（都道府県平均及び全国平均）	100%積上げ横棒グラフ	2023年度	・地方公共団体と該当都道府県平均、全国平均の部門・分野別のCO <sub>2</sub> 排出量構成比の比較

<b>自治体排出量カルテ② 活動量の現状把握</b>			
○地方公共団体の活動量			
1) 部門・分野別指標の推移（廃棄物分野のみCO <sub>2</sub> 排出量の推移）	折れ線グラフ・縦棒グラフ	2010～2023年度	・標準的手法の部門・分野別の活動量の推移

<b>自治体排出量カルテ③ 特定事業所の温室効果ガス排出量の現状把握</b>			
<b>1 地方公共団体の特定事業所排出量</b>			
1) 特定事業所の部門別排出量（令和4年度）	円グラフ	2022年度	・特定事業所の部門別排出量構成比
2) 特定事業所の部門別排出量の推移	積上げ縦棒グラフ	2012～2022年度	・2012年度以降の特定事業所の部門別排出量の推移
3) 特定事業所のガス種別排出量（令和4年度）	円グラフ	2022年度	・特定事業所のガス種別排出量構成比
4) 特定事業所のガス種別排出量の推移	積上げ縦棒グラフ	2012～2022年度	・2012年度以降の特定事業所のガス種別排出量の推移
5) 業種別の特定事業所の事業所数及び排出量（令和4年度）	横棒グラフ	2022年度	・特定事業所の業種別事業所数及び排出量
<b>2 地方公共団体の区域のCO<sub>2</sub>排出量との比較</b>			
6) 区域のCO <sub>2</sub> 排出量の推移及び特定事業所排出量のカバー率の推移	積上げ縦棒・折れ線グラフ	2012～2022年度	・区域の産業部門・業務その他部門の排出量の推移と特定事業所排出量が占める割合（カバー率）の推移
<b>3 全国の1事業所当たりの排出傾向との比較</b>			
7) 1事業所当たりの排出傾向（全国平均値との比較）（令和4年度）	横棒グラフ	2022年度	・特定事業所1事業所当たりの排出量の全国平均との比較

<b>自治体排出量カルテ④ 地方公共団体の再生可能エネルギー導入状況及び導入ポテンシャルの現状把握</b>			
<b>1 地方公共団体のFIT・FIP制度による再生可能エネルギー（電気）</b>			
1) 区域の再生可能エネルギーの導入設備容量（令和6年度）	円グラフ	2024年度	・FIT・FIP公表情報の再生可能エネルギーの設備別の導入状況（導入設備容量）
2) 区域の再生可能エネルギーによる発電電力量（令和6年度）	円グラフ	2024年度	・FIT・FIP公表情報の再生可能エネルギーの設備別の導入状況（発電電力量）
3) 区域の再生可能エネルギーの導入設備容量の推移（累積）	積上げ縦棒・折れ線グラフ	2016～2024年度	・FIT・FIP公表情報の再生可能エネルギーの設備別導入設備容量の推移と区域の電気使用量に対するFIT・FIP太陽光導入比の推移
4) 区域の太陽光発電（10kW未満）設備の導入件数の推移（累積）	縦棒グラフ	2016～2024年度	・FIT・FIP公表情報の太陽光（10kW未満）の導入件数の推移
<b>2 地方公共団体の再生可能エネルギーの導入ポテンシャル</b>			
5) 導入ポテンシャル（電気のみ・設備容量）	円グラフ	2025年11月末時点	・REPOSの再エネ導入ポテンシャル（電気のみ・設備容量）
6) 導入ポテンシャル（発電電力量・利用可能熱量）	円グラフ	2025年11月末時点	・REPOSの再エネ導入ポテンシャル（発電電力量・利用可能熱量）
<b>3 区域のエネルギー消費量及び再生可能エネルギー導入ポテンシャル・導入量の比較（電気）</b>			
7) 区域内のエネルギー消費量に対する再エネ導入ポテンシャル（電気）	縦棒グラフ	2024年度	・区域の電気使用量に対する再エネ導入量、再エネ導入ポテンシャルの比較 ※区域の電気使用量は2023年度で代用
8) 区域内の再エネ導入ポテンシャルと再エネ導入量（電気）	縦棒グラフ	2024年度	・再エネ種別の再エネ導入ポテンシャルに対する再エネ導入量の比較

※人口が同程度の他の地方公共団体との排出量の比較シート、他の地方公共団体との再エネ導入量や再エネポテンシャルの比較シート、特定事業所集計表シートも付録しています。

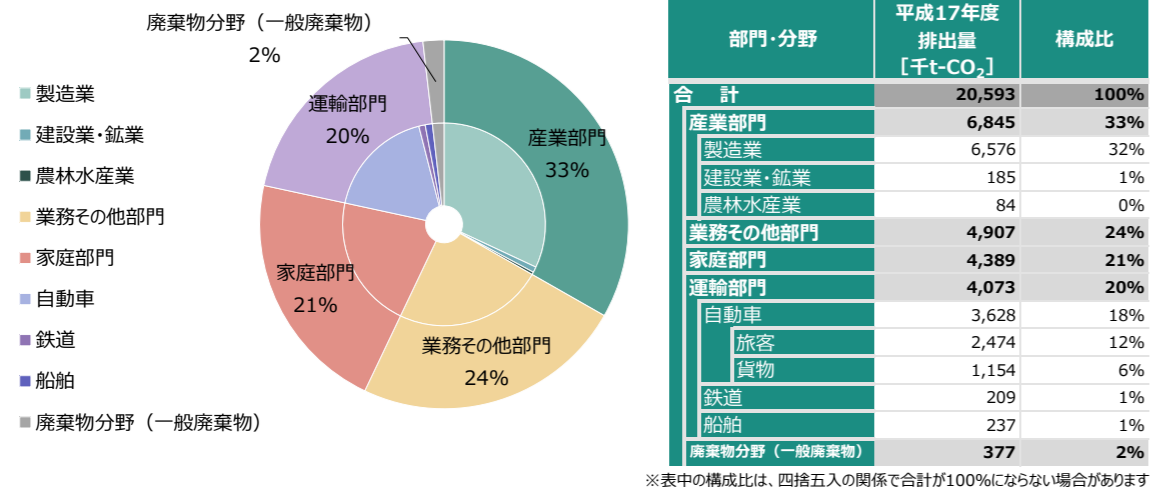
<b>自治体排出量カルテ 他の地方公共団体との比較（部門・分野別排出量）</b>			
<b>1 部門・分野別排出量の比較（標準的手法）（令和4年度（2022年度））</b>			
1) 部門・分野別CO <sub>2</sub> 排出量の比較	積上げ横棒グラフ	2022年度	・標準的手法に基づく区域の部門・分野別CO <sub>2</sub> 排出量を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
2) 部門・分野別CO <sub>2</sub> 排出量構成比の比較	100%積上げ横棒グラフ	2022年度	・標準的手法に基づく区域の部門・分野別CO <sub>2</sub> 排出量構成比を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
<b>2 区域の排出量に占める特定事業所排出量比率の比較（令和4年度（2022年度））</b>			
3) 産業部門	横棒グラフ	2022年度	・標準的手法に基づく区域の産業部門排出量に対し特定事業所排出量が占める割合（カバー率）を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
4) 業務その他部門	横棒グラフ	2022年度	・標準的手法に基づく区域の業務その他部門排出量に対し特定事業所排出量が占める割合（カバー率）を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
<b>3 特定事業所排出量の比較（令和4年度（2022年度））</b>			
5) 特定事業所排出量の比較	積上げ横棒グラフ	2022年度	・特定事業所排出量を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
6) 特定事業所数の比較	積上げ横棒グラフ	2022年度	・特定事業所数を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
7) 特定事業所排出量の部門別構成比の比較	100%積上げ横棒グラフ	2022年度	・特定事業所排出量の部門別構成比を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較

<b>自治体排出量カルテ 他の地方公共団体との比較（再エネ導入量・再エネポテンシャル）</b>			
<b>1 再エネ導入量の比較（令和6年度（2024年度））</b>			
1) 他の地方公共団体との再エネ別導入設備容量の比較	積上げ横棒グラフ	2024年度	・再エネ別導入設備容量を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
2) 他の地方公共団体との再エネ別発電電力量の比較	積上げ横棒グラフ	2024年度	・再エネ別発電電力量を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
3) 他の地方公共団体との対電気使用量FIT・FIP導入比の比較	積上げ横棒グラフ	2024年度	・対電気使用量FIT・FIP導入比を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較 ※区域の電気使用量は2023年度で代用
4) 対世帯数FIT・FIP太陽光発電（10kW未満）導入比の比較	横棒グラフ	2024年度	・対世帯数FIT・FIP太陽光発電（10kW未満）導入比を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較 ※世帯数は2023年度で代用
<b>2 再エネ導入ポテンシャルの比較</b>			
5) 同一都道府県内における他の地方公共団体の再エネポテンシャル（発電電力量）の比較	積上げ横棒グラフ	2025年11月末時点	・他の地方公共団体の再エネポテンシャル（発電電力量）を同一都道府県内で比較
6) 同一都道府県内における他の地方公共団体の電気使用量の比較	横棒グラフ	2025年11月末時点	・他の地方公共団体の電気使用量を同一都道府県内で比較（※2023年度で代用）
7) 同一都道府県内の他の地方公共団体の再エネ不足量・余剰量の比較	横棒グラフ	2025年11月末時点	・他の地方公共団体の再エネ不足量・余剰量を同一都道府県内で比較 ※区域の電気使用量は2023年度で代用

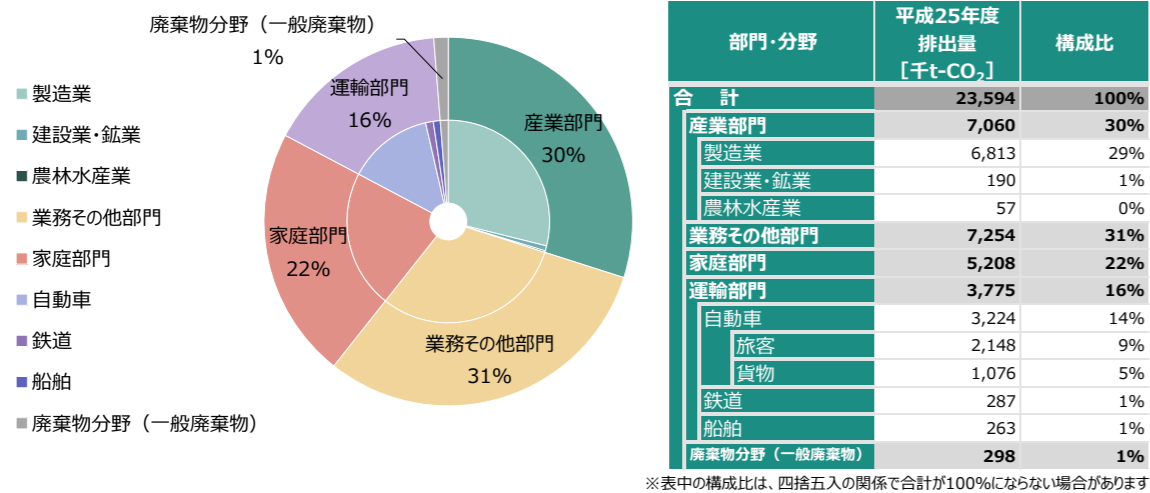
<b>特定事業所集計表シート</b>			
<b>特定事業所集計表</b>			
特定事業所集計表	表	2012～2022年度	・特定事業所の事業所数と排出量の集計表（日本標準産業分類別）

○地方公共団体の部門・分野別CO<sub>2</sub>排出量（標準的手法）

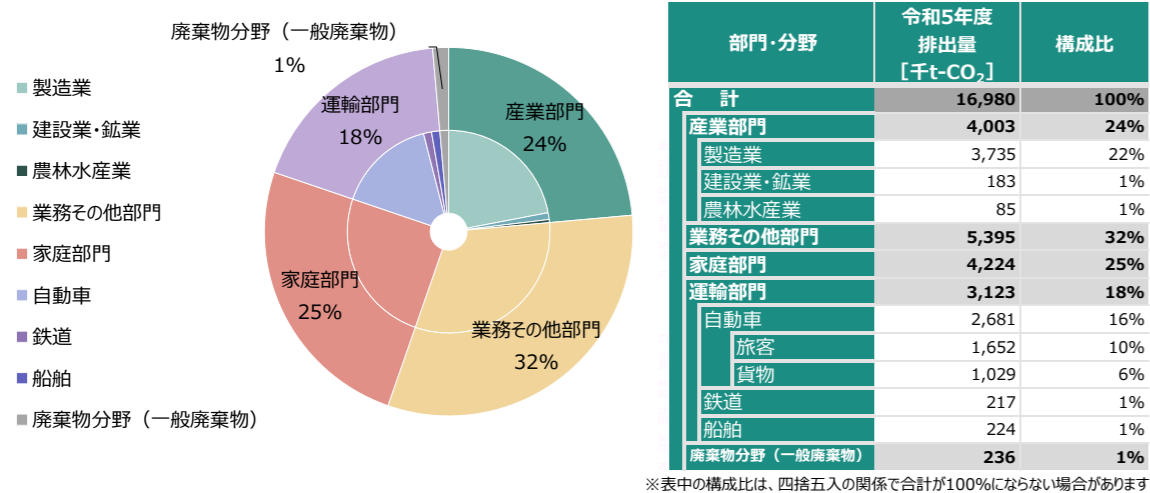
1) 部門・分野別CO<sub>2</sub>排出量構成比 平成17年度（2005年度）



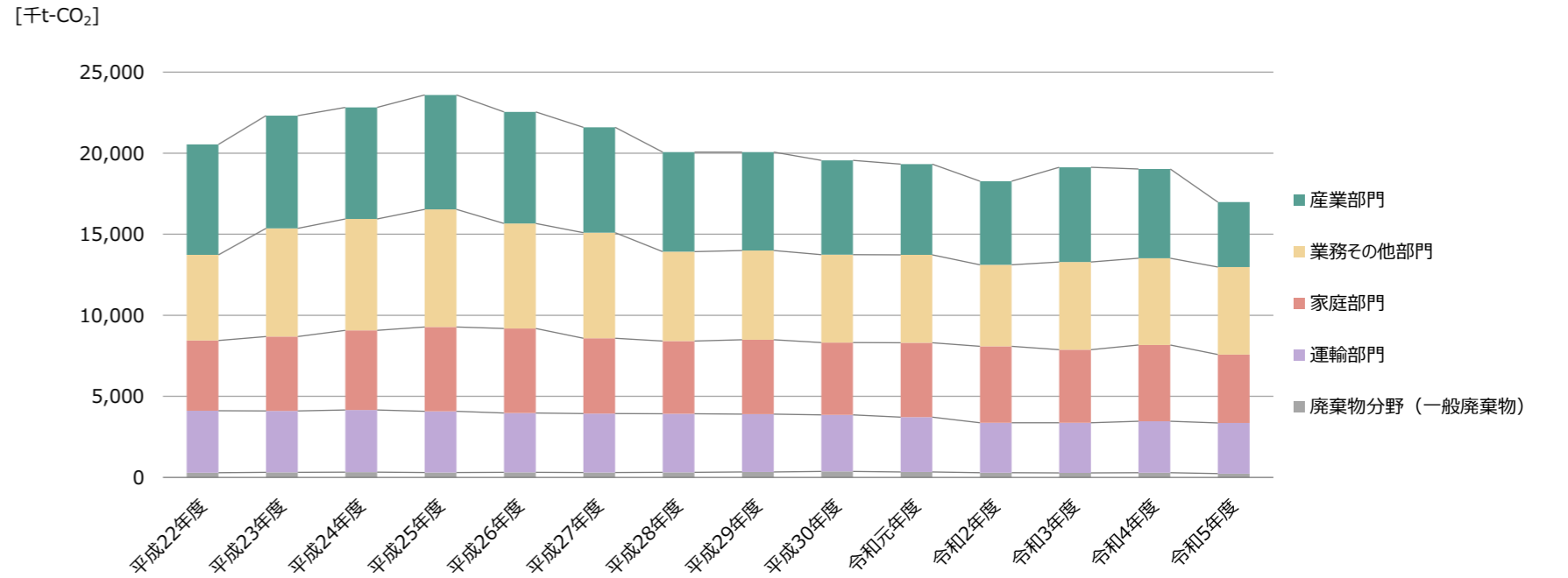
2) 部門・分野別CO<sub>2</sub>排出量構成比 平成25年度（2013年度）



3) 部門・分野別CO<sub>2</sub>排出量構成比 令和5年度（2023年度）



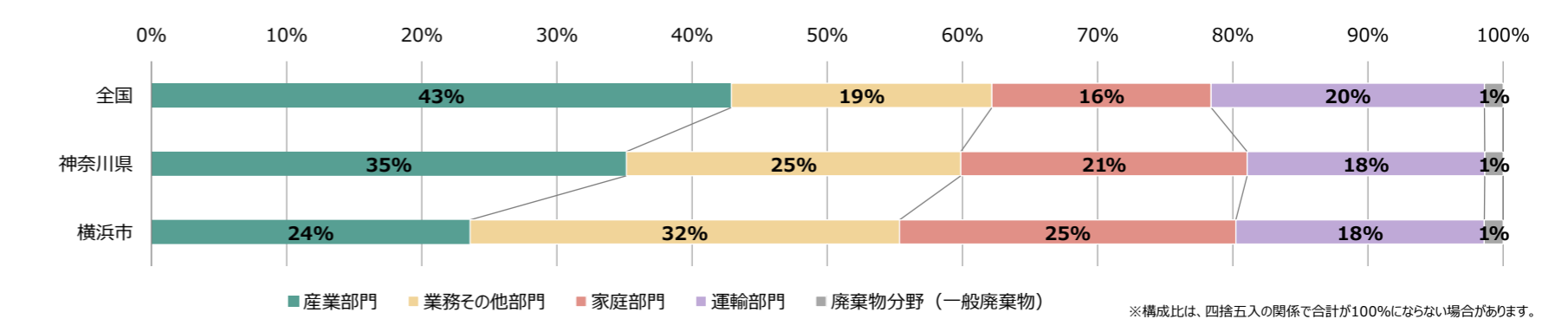
4) 部門・分野別CO<sub>2</sub>排出量の推移



部門・分野	部門・分野別CO <sub>2</sub> 排出量 [千t-CO <sub>2</sub> ]														
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
合計	20,545	22,316	22,824	23,594	22,543	21,594	20,070	20,070	19,562	19,325	18,273	19,128	19,027	16,980	
産業部門	6,813	6,955	6,881	7,060	6,884	6,502	6,141	6,070	5,823	5,591	5,162	5,838	5,503	4,003	
製造業	6,601	6,668	6,606	6,813	6,619	6,238	5,872	5,779	5,580	5,363	4,891	5,524	5,243	3,735	
建設業・鉱業	143	223	211	190	193	184	181	187	175	159	175	219	193	183	
農林水産業	70	64	63	57	72	80	87	103	68	68	97	94	67	85	
業務その他部門	5,284	6,676	6,867	7,254	6,475	6,509	5,518	5,504	5,424	5,423	5,020	5,409	5,358	5,395	
家庭部門	4,331	4,582	4,916	5,208	5,213	4,643	4,487	4,597	4,460	4,594	4,715	4,509	4,705	4,224	
運輸部門	3,828	3,791	3,833	3,775	3,657	3,634	3,609	3,561	3,485	3,386	3,083	3,093	3,169	3,123	
自動車	3,378	3,310	3,300	3,224	3,125	3,109	3,085	3,049	3,003	2,925	2,648	2,635	2,707	2,681	
旅客	2,287	2,245	2,231	2,148	2,041	2,021	2,001	1,969	1,923	1,861	1,641	1,597	1,677	1,652	
貨物	1,091	1,065	1,069	1,076	1,084	1,089	1,085	1,080	1,079	1,064	1,007	1,038	1,031	1,029	
鉄道	221	255	283	287	276	271	264	255	237	232	222	219	224	217	
船舶	229	227	251	263	256	254	259	256	245	229	214	239	238	224	
廃棄物分野（一般廃棄物）	289	313	328	298	315	306	316	337	369	332	292	280	291	236	

※表中の内訳と小計・合計は、四捨五入の関係で一致しない場合があります。

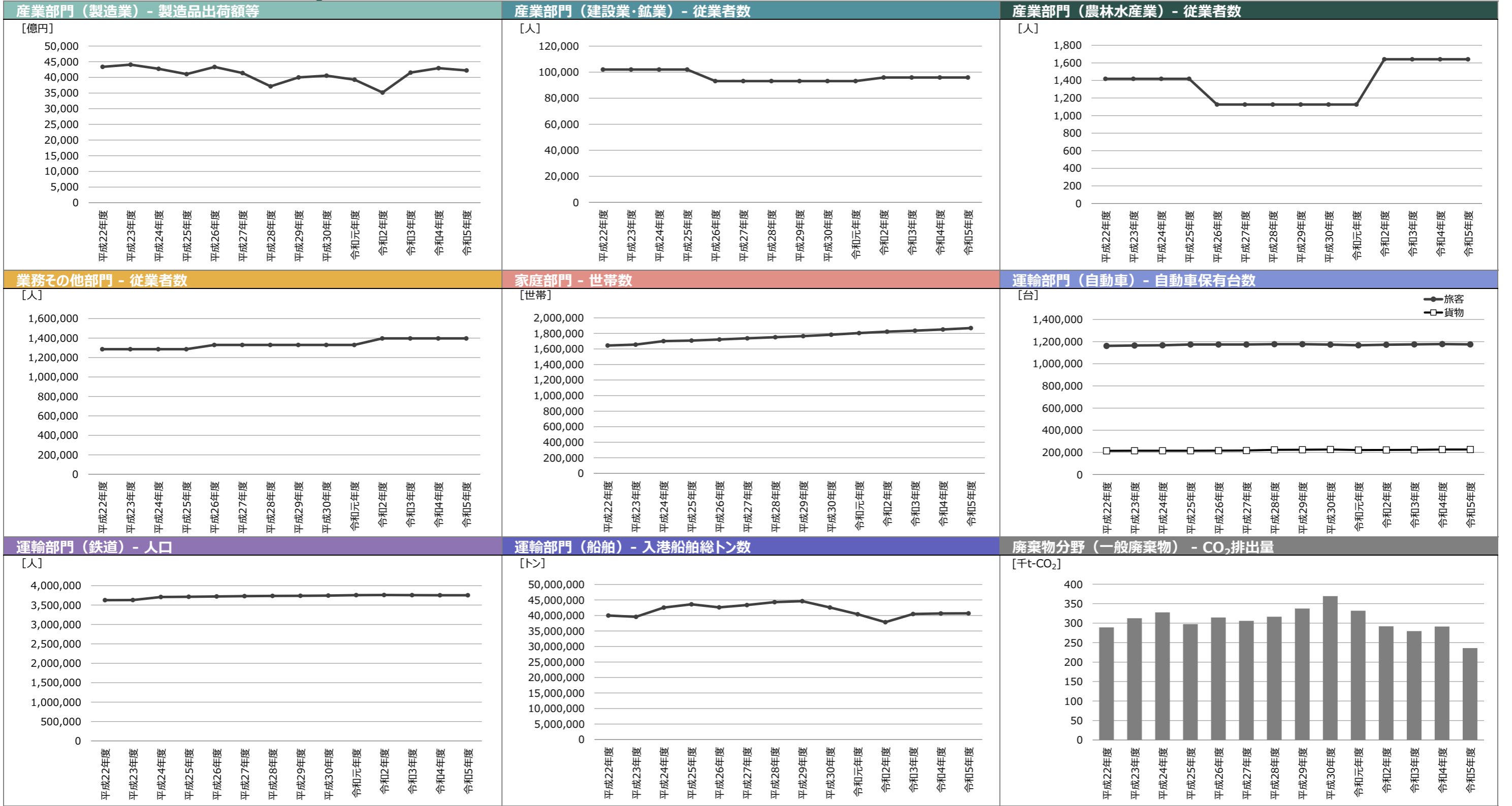
5) 部門・分野別CO<sub>2</sub>排出量構成比の比較（都道府県平均及び全国平均）



区域のCO<sub>2</sub>排出量は、環境省「地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル」の標準的手法に基づき、統計資料の按分により地方公共団体別部門・分野別CO<sub>2</sub>排出量を推計した値です。なお、一般廃棄物のCO<sub>2</sub>排出量は、一般廃棄物処理実態調査結果の焼却施設ごとの年間処理量等から推計しています。各地方公共団体の過年度のデータは、脱炭素地域づくり支援サイト「都道府県別・部門別CO<sub>2</sub>排出量の現状推計」（[https://policies.env.go.jp/policy/roadmap/local\\_keikaku/kuiki/suikai.html](https://policies.env.go.jp/policy/roadmap/local_keikaku/kuiki/suikai.html)）を御参照ください。本カルテに掲載している推計年度は、地方公共団体実行計画（区域施策編）で地域の温室効果ガス排出量の目標を策定する際に基準年度や現状年度として選択できます。令和5年度（2023年度）は最新の現況推計年度です。各部門・分野別CO<sub>2</sub>排出量構成比を分析することで施策の検討に役立てることができます。

○地方公共団体の活動量

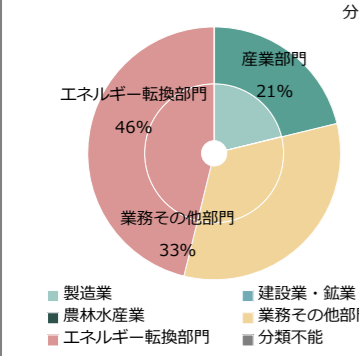
1) 部門・分野別指標の推移（廃棄物分野のみCO<sub>2</sub>排出量の推移）



部門・分野別活動量の推移で示す各指標は、部門・分野別CO<sub>2</sub>排出量の推計に用いた按分指標です。それぞれの指標の経年変化を分析することで、CO<sub>2</sub>排出量の要因となる活動量がどのように増減しているかを把握することができます。  
 各指標の引用元は次のとおりです。製造品出荷額等（製造業）：令和元年度までは工業統計調査・令和2年度は経済センサス（活動調査）・令和3年度以降は経済構造実態調査、従業者数（建設業・鉱業、農林水産業、業務その他部門）：令和元年度までは経済センサス（基礎調査）・令和2年度以降は経済センサス（活動調査）、世帯数（家庭部門）：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査、自動車保有台数（運輸部門）：一般財団法人自動車検査登録情報協会「市区町村別自動車保有車両数」及び一般社団法人全国軽自動車協会連合会「市区町村別軽自動車車両数」、人口（鉄道）：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査、入港船舶総トン数（船舶）：港湾統計年報  
 なお、従業者数は経済センサス（基礎調査）を使用し、「平成20年度」、「平成21年度～平成25年度」、「平成26年度～令和元年度」をそれぞれ同じ統計から集計（廃置分合等により数値が同値でない場合もあります）していましたが、令和3年経済センサスからは活動調査で把握されることとなり、令和2年度以降の従業者数は経済センサス（活動調査）から集計しています。廃棄物分野は按分ではなく一般廃棄物処理実態調査結果の焼却施設ごとの年間処理量等から推計しているため、推計したCO<sub>2</sub>排出量の推移を掲載しています。

1 地方公共団体の特定事業所排出量

1) 特定事業所の部門別排出量 (令和4年度)



2) 特定事業所の部門別排出量の推移

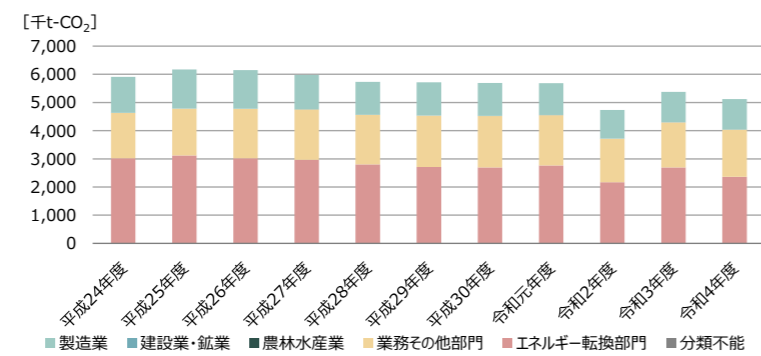
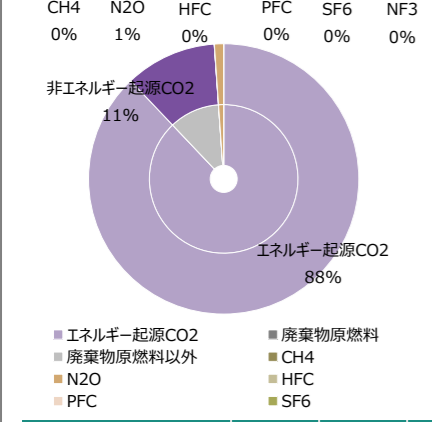


Table with 11 columns (departments) and 11 rows (years from FY2021 to FY2022) showing CO2 emissions in [kt-CO2].

本カルテの「特定事業所」は、多量に温室効果ガスを排出しており、「地球温暖化対策の推進に関する法律」において自らの温室効果ガスの排出量を算定し、国に報告することが義務付けられている事業所を指します。

- 製造業：E製造業（エネルギー転換部門の細分類除く）
●建設業・鉱業：C鉱業、採石業、砂利採取業、D建設業
●農林水産業：A農業、林業、B漁業
●業務その他部門：F電気・ガス・熱供給・水道業～S公務（エネルギー転換部門の細分類除く）
●エネルギー転換部門：日本標準産業分類の細分類（E製造業の1711：石油精製業、1731：コークス製造業、F電気・ガス・熱供給・水道業の3311：発電所、3312：変電所、3411：ガス製造工場、3511：熱供給業）

3) 特定事業所のガス種別排出量の推移 (令和4年度)



4) 特定事業所のガス種別排出量の推移

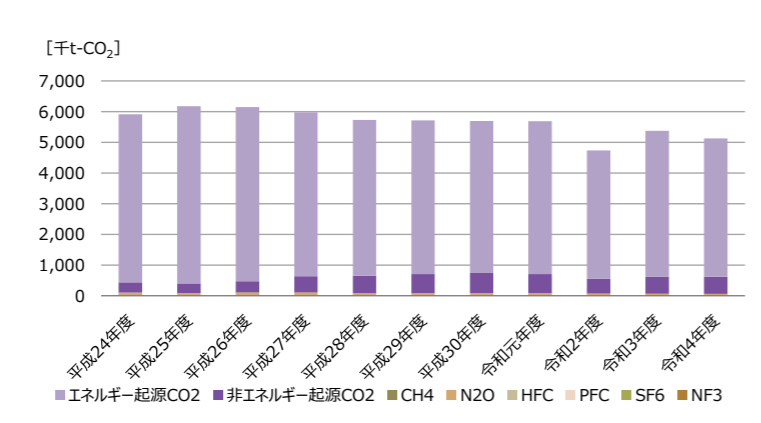
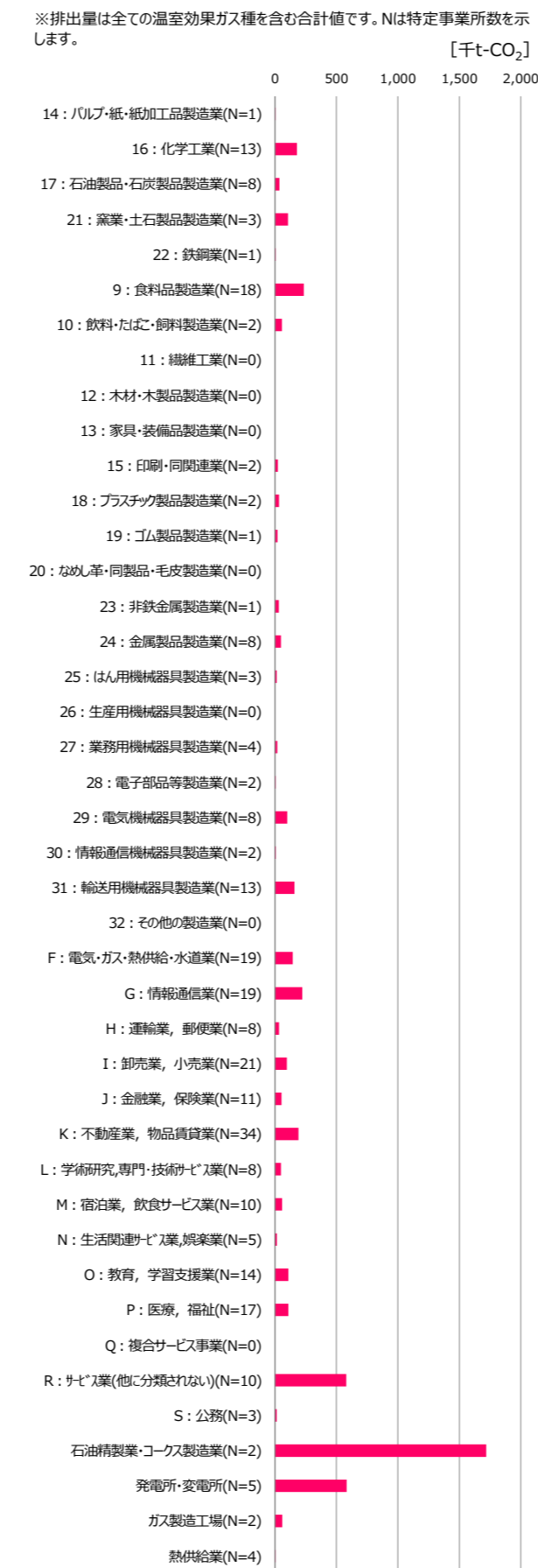


Table with 11 columns (gas species) and 11 rows (years from FY2021 to FY2022) showing greenhouse gas emissions in [kt-CO2].

エネルギー起源CO2以外のガス種の排出源となっている活動を以下に例示します。あくまで、例示のため、詳細は「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」を御確認ください。

- 非エネルギー起源CO2
・廃棄物原燃料：廃棄物の焼却のうち廃棄物が燃料に変えて焼却の用に供される場合(A)及び製品の製造の用途への使用、廃棄物燃料等の使用
・廃棄物原燃料以外：廃棄物の焼却のうち上記(A)を除く場合、原油又は天然ガスの生産、セメントの製造、生石灰の製造 等
●CH4：燃料の燃焼における施設及び機械器具における燃料の使用、都市ガスの製造、稲作、廃棄物の埋立処分、工場廃水の処理 等
●N2O：燃料の燃焼の用に供する施設及び機械器具における燃料の使用、麻酔剤の使用、家畜の排せつ物の管理、耕地における肥料の使用 等
●HFC：業務用冷凍空調機器の使用開始におけるHFCの封入、業務用冷凍空調機器の整備におけるHFCの回収及び封入 等
●PFC：アルミニウムの製造、パーフルオロカーボン（PFC）の製造、半導体素子等の加工工程でのドライエッチング等におけるPFCの使用 等
●SF6：マグネシウム合金の鋳造、六ふっ化硫黄（SF6）の製造、変圧器等電気機械器具の製造及び使用の開始におけるSF6の封入 等
●NF3：三ふっ化窒素（NF3）の製造、半導体素子等の加工工程でのドライエッチング等におけるNF3の使用

5) 業種別の特定事業所の事業所数及び排出量 (令和4年度)



2 地方公共団体の区域のCO2排出量との比較

6) 区域のCO2排出量の推移及び特定事業所排出量のカバー率の推移

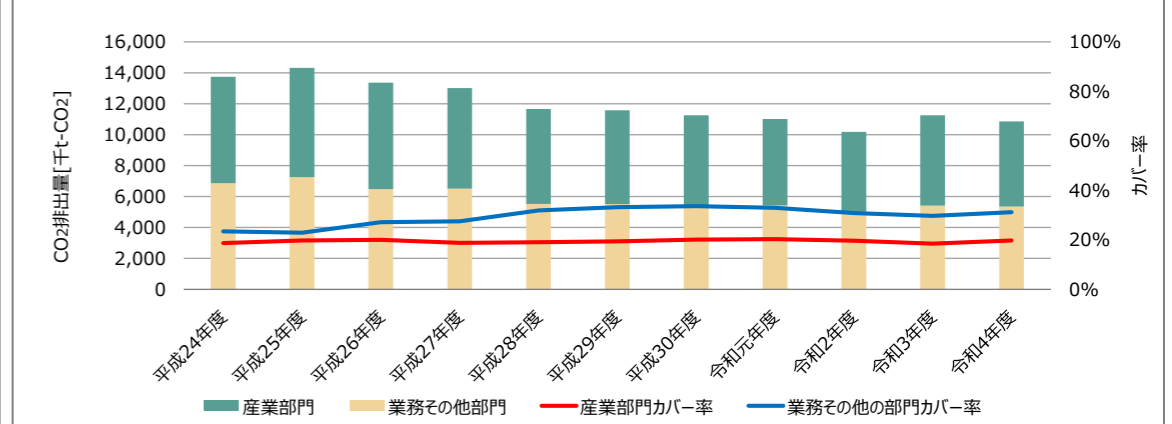
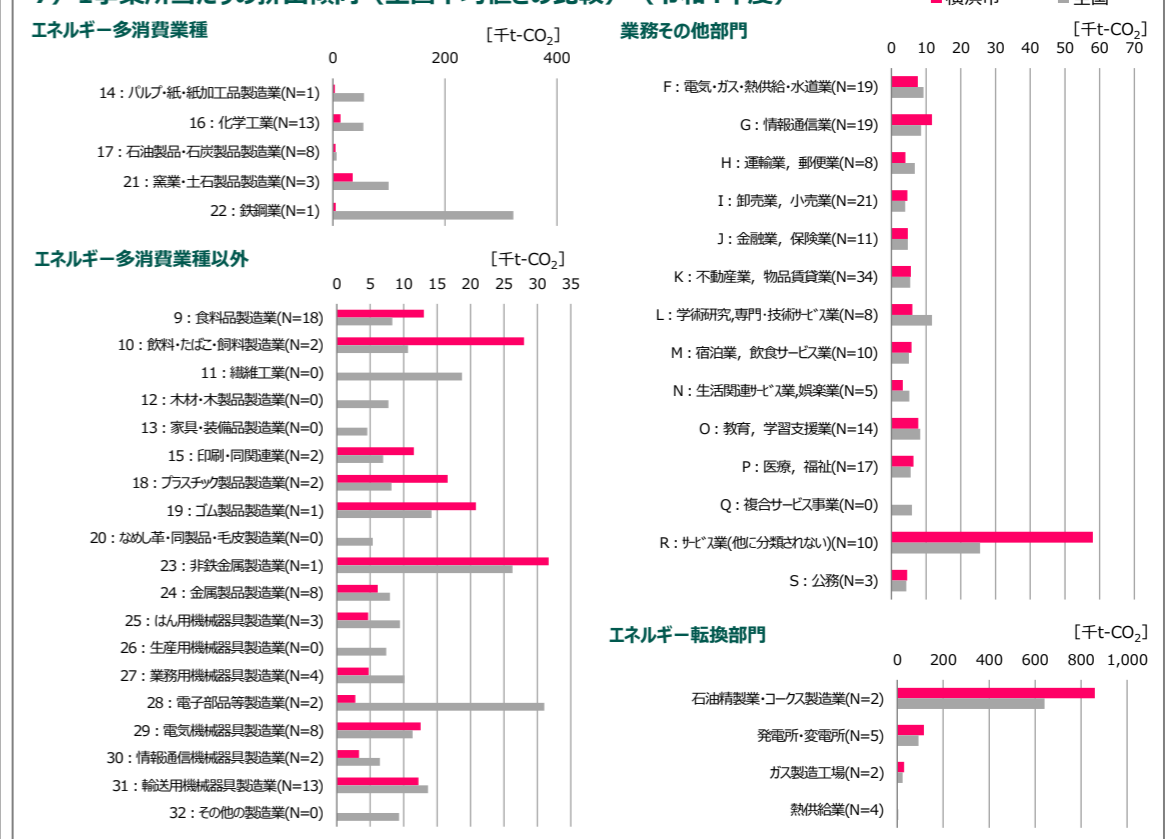


Table showing regional energy source CO2 emissions and coverage rates by department from FY2021 to FY2022.

区域のCO2排出量（産業・業務部門）は、「①CO2排出量の現状把握」と同様の数値を用いています。
特定事業所のカバー率※：（カバー率）＝（特定事業所の温室効果ガス排出量）/（区域の産業・業務部門のエネルギー起源CO2排出量）
※特定事業所のカバー率は、推計精度の問題により、地方公共団体の区域全体の排出量を超える可能性があります。特定事業所排出量の比率が100%を超える場合は、カバー率を100%と表記しています。

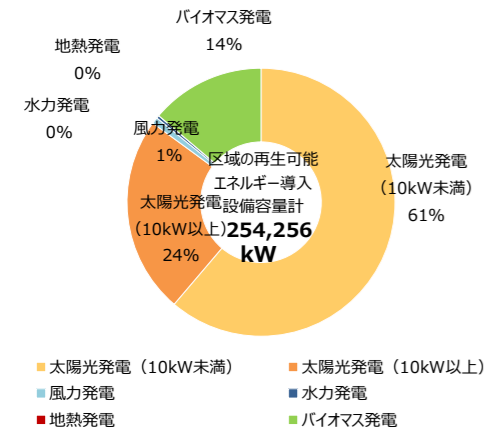
3 全国の1事業所当たりの排出傾向との比較

※排出量は全ての温室効果ガス種を含む合計値です。Nは特定事業所数を示します。

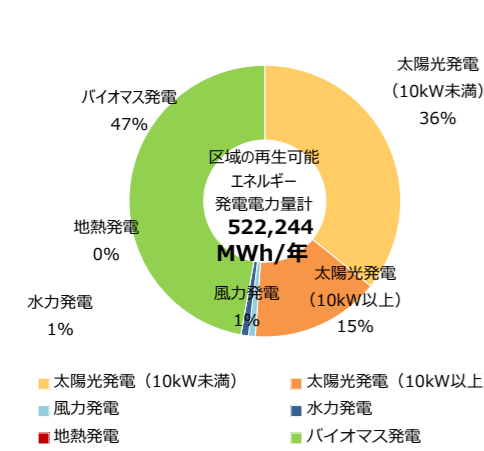


1 地方公共団体のFIT・FIP制度による再生可能エネルギー（電気）※1

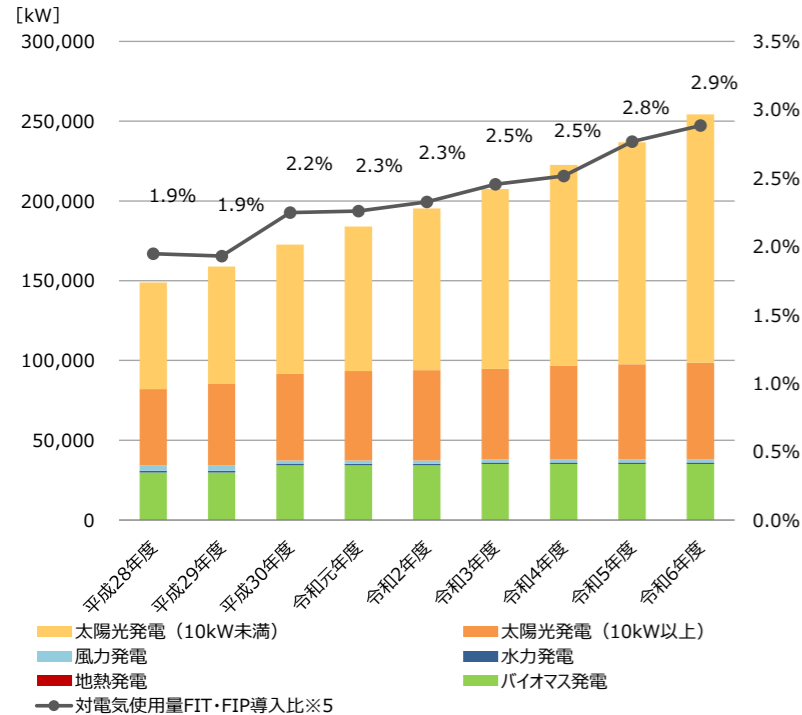
1) 区域の再生可能エネルギーの導入設備容量 (令和6年度)



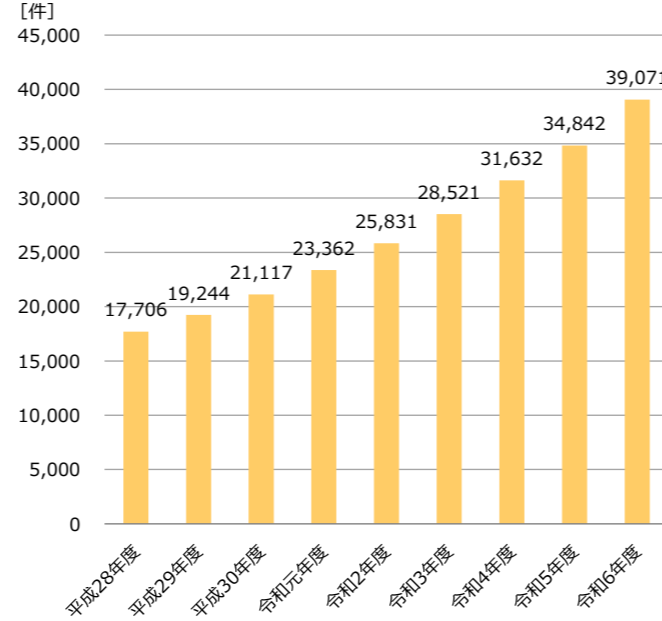
2) 区域の再生可能エネルギーによる発電電力量 (令和6年度)



3) 区域の再生可能エネルギーの導入設備容量の推移 (累積)



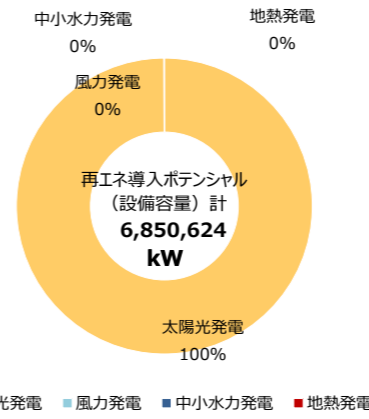
4) 区域の太陽光発電 (10kW未満)※6) 設備の導入件数の推移 (累積)



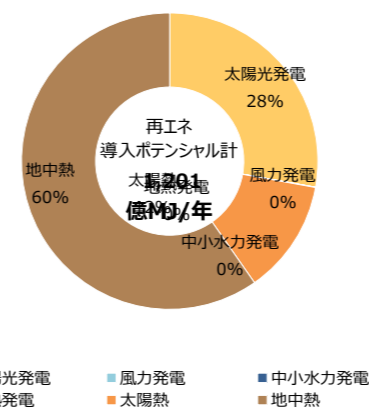
※6：区域の太陽光発電（10kW未満）設備の導入件数は比較的小規模な太陽光発電（住宅等に設置されるもの）を示すと考えられることから、住宅への太陽光発電の導入実績とみなすことができます。

2 地方公共団体の再生可能エネルギーの導入ポテンシャル※7

5) 導入ポテンシャル（電気のみ・設備容量）



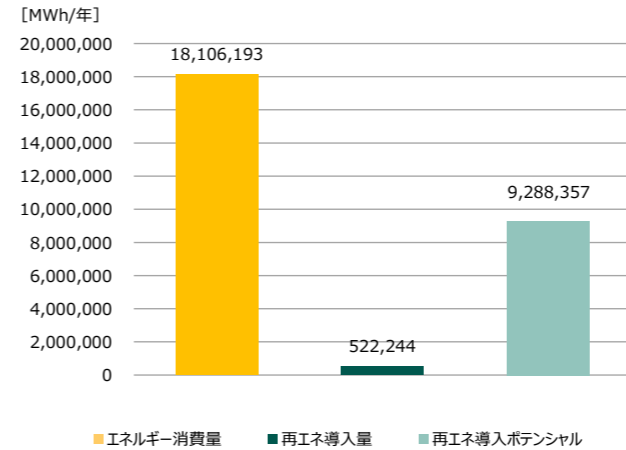
6) 導入ポテンシャル（発電電力量・利用可能熱量）



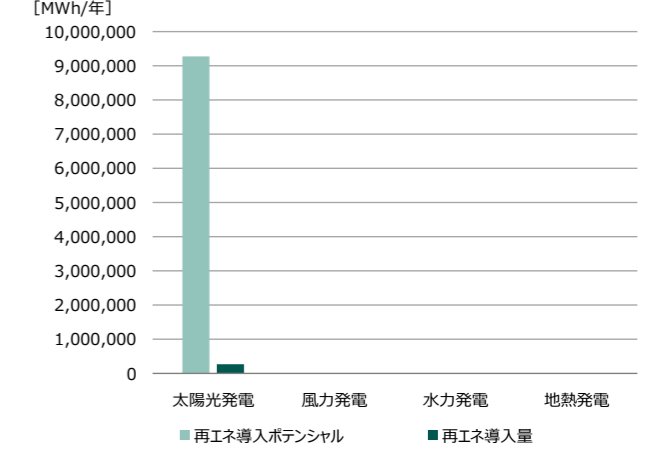
REPOS上に掲載されている再生エネルギーの導入ポテンシャルは、実際に導入可能な設置容量や発電電力量ではなく、一定の仮定を置いた上での推計値であることを留意して御活用ください。

3 区域のエネルギー消費量及び再生可能エネルギー導入ポテンシャル・導入量の比較（電気）

7) 区域内のエネルギー消費量に対する再エネ導入ポテンシャル（電気）



8) 区域内の再エネ導入ポテンシャルと再エネ導入量（電気）



区域のエネルギー消費量と再エネ導入ポテンシャル（電気）	
対電気使用量FIT・FIP導入比（再エネ自給率）	2.9%
対電気使用量再エネ導入ポテンシャル比 ※9	51.3%
再エネ不足量[MWh/年] ※10	8,817,836

※9：（再エネ導入ポテンシャル）/（電気使用量）により算出します。  
 ※10：電気使用量 > 再エネ導入ポテンシャルの場合は「再エネ不足量[MWh/年]」、電気使用量 < 再エネ導入ポテンシャルの場合は「再エネ剰余量[MWh/年]」を示します。

エネルギー種別	区域の再生可能エネルギーの導入設備容量 [kW]									
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
太陽光発電（10kW未満）	66,808	73,330	81,143	90,548	101,392	112,776	125,803	139,076	155,672	
太陽光発電（10kW以上）	47,773	51,242	54,238	56,209	56,654	56,712	58,772	59,617	60,565	
風力発電	3,480	3,480	1,980	1,980	1,980	1,980	1,980	1,980	1,980	
水力発電	969	969	969	889	889	889	889	889	889	
地熱発電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
バイオマス発電 ※2	29,870	29,870	34,370	34,370	34,370	35,150	35,150	35,150	35,150	
再生可能エネルギー合計	148,900	158,891	172,700	183,996	195,285	207,507	222,593	236,712	254,256	

※1：再生可能エネルギー導入設備容量は、「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法（再エネ特措法）」（平成23年法律第108号）に基づくFIT・FIP制度で認定された設備のうち買取を開始した設備の導入容量を記載しています。そのため、自家消費のみで売電していない設備、FIT・FIP制度への移行認定を受けていない設備等は、本カルテの値に含まれません。

※2：バイオマス発電の導入設備容量は、FIT・FIP制度公表情報のバイオマス発電設備（バイオマス比率考慮あり）の値を用いています。

エネルギー種別	区域の再生可能エネルギーによる発電電力量 ※3 [MWh/年]									
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
太陽光発電（10kW未満）	80,178	88,005	97,381	108,669	121,682	135,345	150,978	166,908	186,825	
太陽光発電（10kW以上）	63,192	67,781	71,744	74,351	74,940	75,017	77,741	78,858	80,113	
風力発電	7,560	7,560	4,302	4,302	4,302	4,302	4,302	4,302	4,302	
水力発電	5,093	5,093	5,093	4,673	4,673	4,673	4,673	4,673	4,673	
地熱発電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
バイオマス発電 ※2	209,329	209,329	240,865	240,865	240,865	246,331	246,331	246,331	246,331	
再生可能エネルギー合計	365,352	377,768	419,385	432,859	446,461	465,667	484,025	501,072	522,244	
区域の電気使用量 ※4	18,756,583	19,568,079	18,648,030	19,159,028	19,189,455	18,966,033	19,244,700	18,106,193	18,106,193	
対電気使用量FIT・FIP導入比 ※5	1.9%	1.9%	2.2%	2.3%	2.3%	2.5%	2.5%	2.8%	2.9%	

※3：区域の再生可能エネルギーによる発電電力量は、区域の再生可能エネルギーの導入設備容量と調達価格等算定委員会「調達価格等に関する意見」の設備利用率から推計しました。設備利用率は実際には地域差等があることから、推計値は実際の発電電力量とは一致しません。目安として御活用ください。なお、推計に用いた前提条件は、「別紙」のシートを御覧ください。

※4：区域の電気使用量は、「地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル」の標準的手法を参考に、総合エネルギー統計及び都道府県別エネルギー消費統計の部門別の電気使用量を各部門の活動量で按分して推計しました。ただし、統計資料の公表年度の違いから最新年度の区域の電気使用量は、その1年度前の値を用いています。

※5：区域のFIT・FIP制度による再生可能エネルギーの発電電力量（の合計値）を、区域の電気使用量で除した値です。

エネルギー種別	設備容量 [kW]	発電電力量 [MWh/年]	導入ポテンシャル [億MJ/年]
太陽光発電	6,846,771	9,274,081	334
建物系	6,180,574	8,377,462	302
土地系	666,197	896,619	32
風力発電	2,500	5,980	0
中小水力発電	0	0	0
河川	0	0	0
農業用水路	0	0	0
地熱発電	1,353	8,295	0
蒸気フラッシュ発電	0	0	0
バイナリー発電	3	15	0
低温バイナリー発電	1,350	8,280	0
太陽熱	-	-	149
地中熱	-	-	717
再生可能エネルギー合計	6,850,624	9,288,357	1,201

※7：最新の数値や算定方法、再エネや再エネ導入ポテンシャルの定義は、REPOSのHPを御参照ください。  
[https://repos.env.go.jp/web/data/mounted\\_data](https://repos.env.go.jp/web/data/mounted_data)

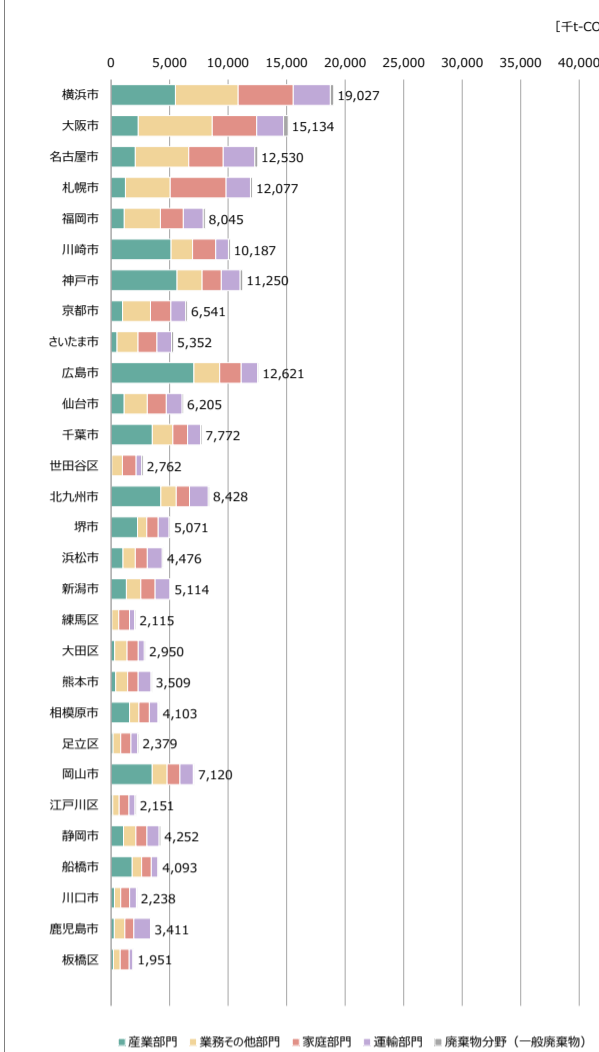
参考) 再エネ導入ポテンシャルと再エネ導入量の集計対象の整理 ※8

データ出所	再エネ導入ポテンシャル	再エネ導入量
REPOS（ポテンシャル情報）	REPOS（ポテンシャル情報）	再エネ特措法 情報公表用ウェブサイト（全国・都道府県はA表、市町村はB表）
太陽光発電	太陽光発電（建物系・土地系）	太陽光発電（10kW未満・10kW以上）
風力発電	風力発電（陸上）	風力発電（20kW未満・20kW以上のうち洋上風力を除く）
水力発電	中小水力発電（河川・農業用水路）	水力発電
地熱発電	蒸気フラッシュ発電・バイナリー発電・低温バイナリー発電	地熱発電

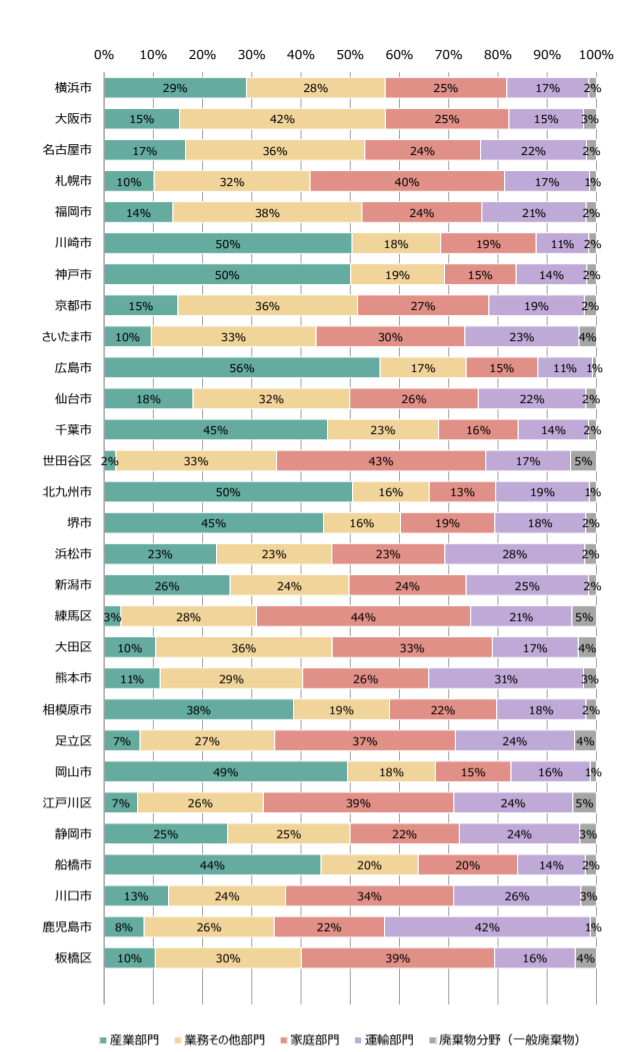
※8：再エネ導入ポテンシャルと再エネ導入量のデータは、集計対象範囲や数値の算出方法が異なるため、あくまで目安として御活用ください。

1 部門・分野別排出量の比較（標準的手法）（令和4年度（2022年度））

1) 部門・分野別CO<sub>2</sub>排出量の比較

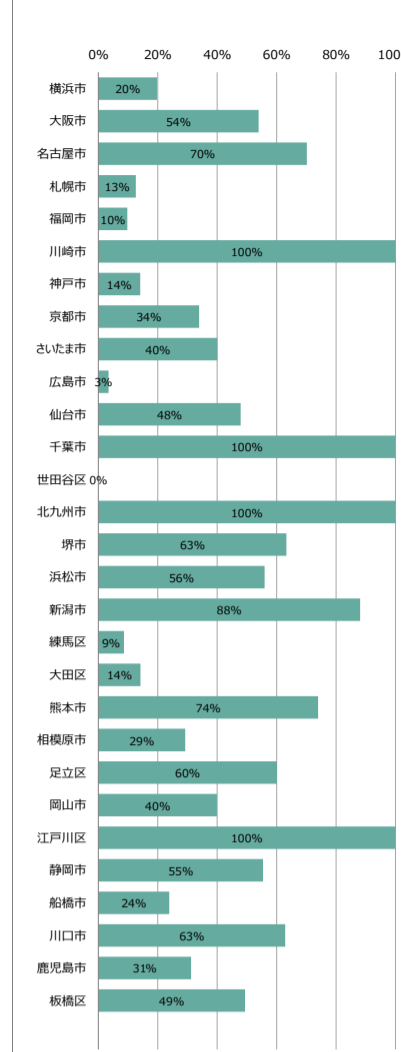


2) 部門・分野別CO<sub>2</sub>排出量構成比の比較

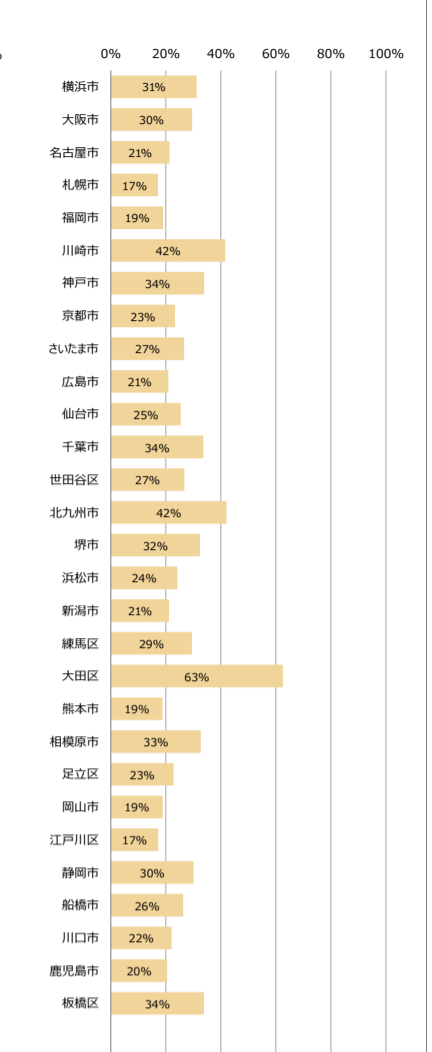


2 区域の排出量に占める特定事業所排出量比率の比較（令和4年度（2022年度））

3) 産業部門



4) 業務その他部門

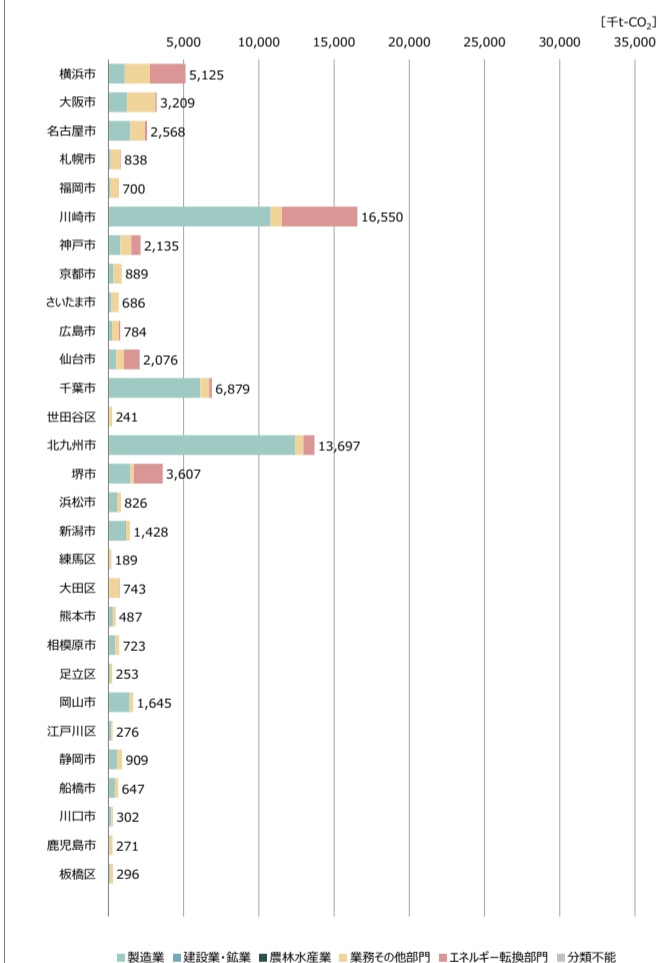


区域のCO<sub>2</sub>排出量は、環境省「地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル」の標準的手法に基づき、統計資料の按分に4地方公共団体別部門・分野別のCO<sub>2</sub>排出量を推計した値です。なお、一般廃棄物のCO<sub>2</sub>排出量は、一般廃棄物処理実施調査結果の廃棄施設ごとの年間処理量等から推計しています。各地方公共団体の過年度のデータは、脱炭素地域づくりの支援サイト「都道府県別・部門別CO<sub>2</sub>排出量の現状推計」(https://policies.env.go.jp/policy/roadmap/local\_keikaku/kuiki/suikai.html) を御参照ください。構成比は、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

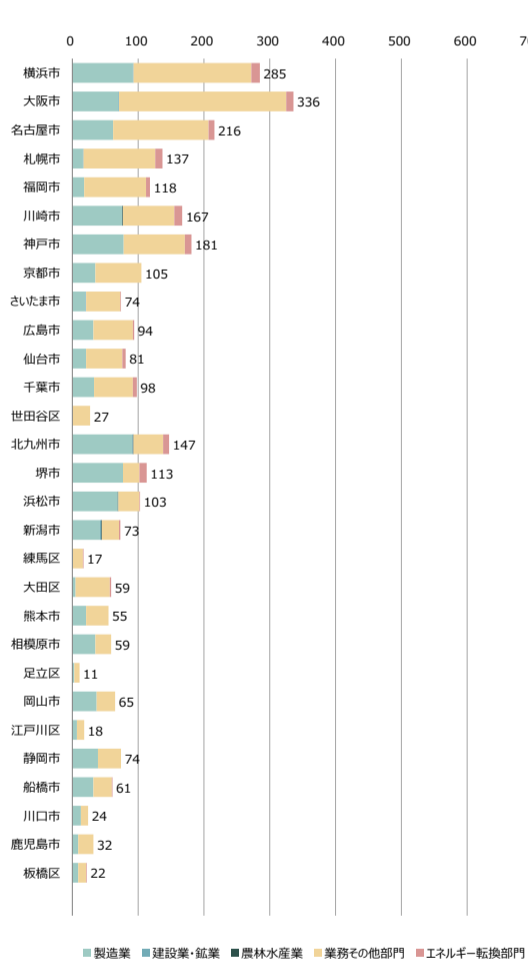
推計精度の関係で、区域の排出量に占める特定事業所排出量の比率が100%を超える場合は100%としています。区域の排出量は、環境省「地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル」の標準的手法に基づき、地方公共団体別部門・分野別に推計した値です。

3 特定事業所排出量の比較（令和4年度（2022年度））

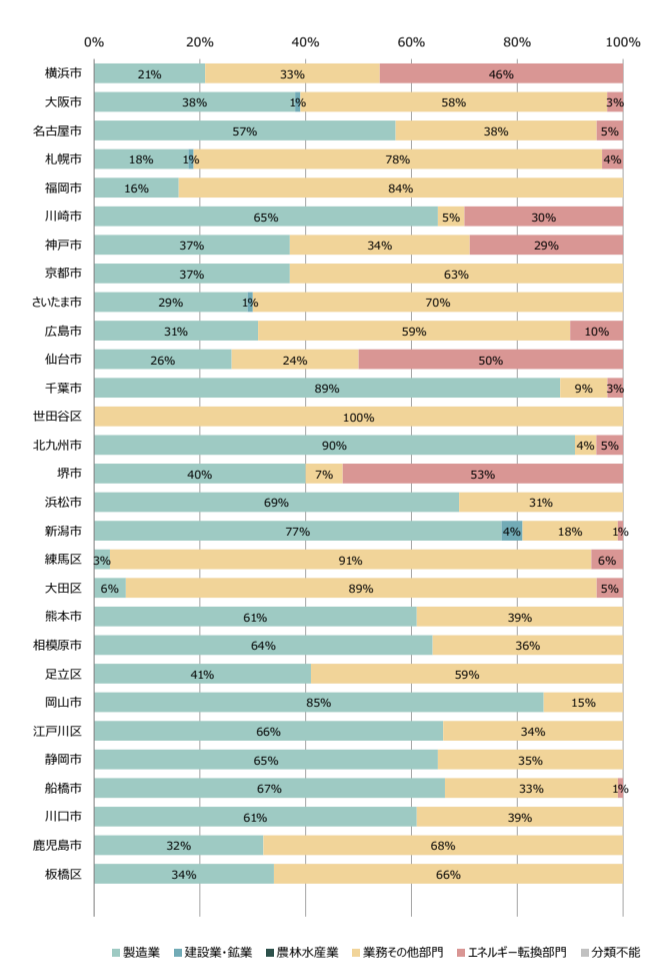
5) 特定事業所排出量の比較



6) 特定事業所数の比較



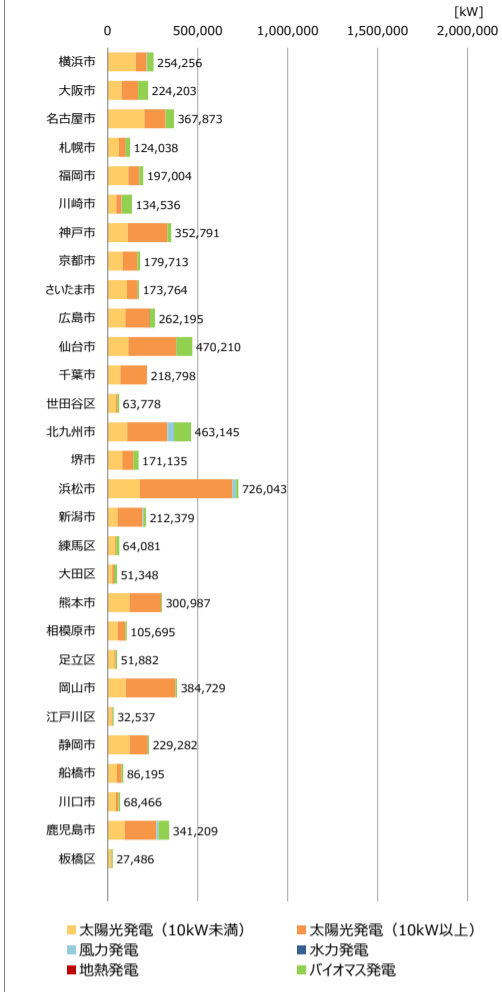
7) 特定事業所排出量の部門別構成比の比較



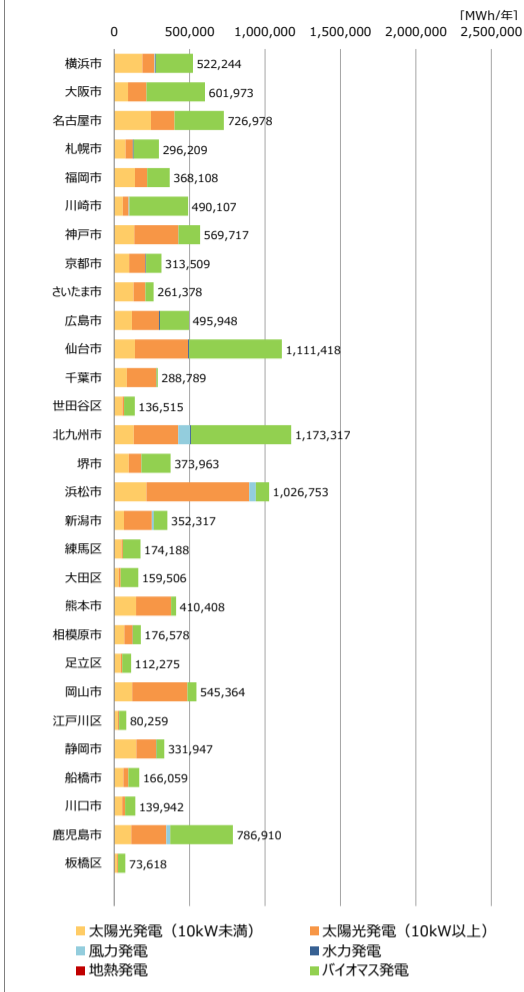
小数点以下を四捨五入して0%になるものはデータラルを表示していません。構成比は、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

1 再エネ導入量の比較 (令和6年度 (2024年度))

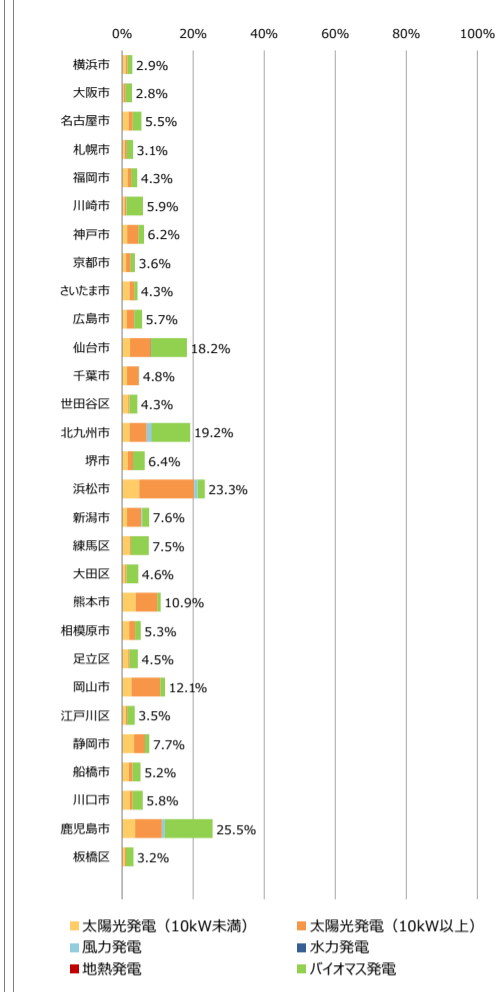
1) 他の地方公共団体との再エネ導入設備容量の比較



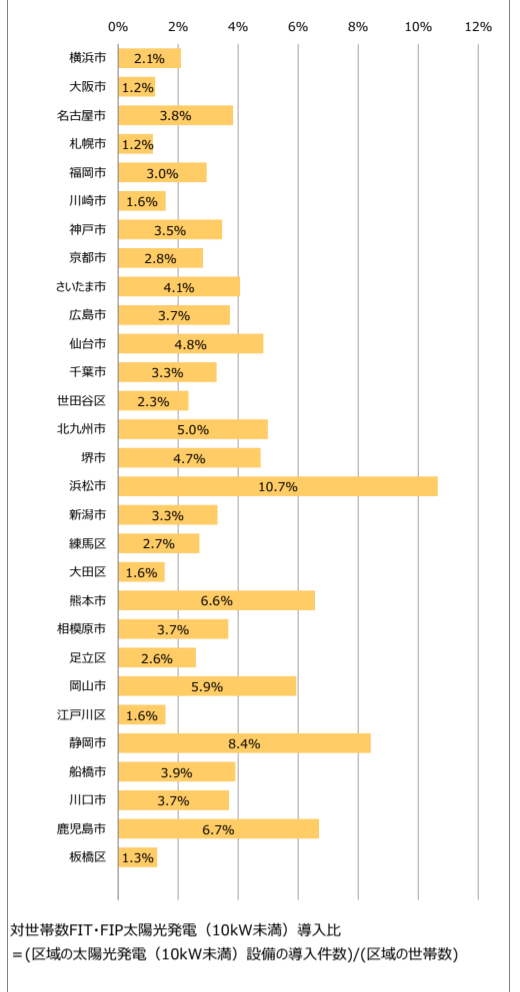
2) 他の地方公共団体との再エネ別発電電力量の比較



3) 他の地方公共団体との対電気使用量FIT・FIP導入比の比較



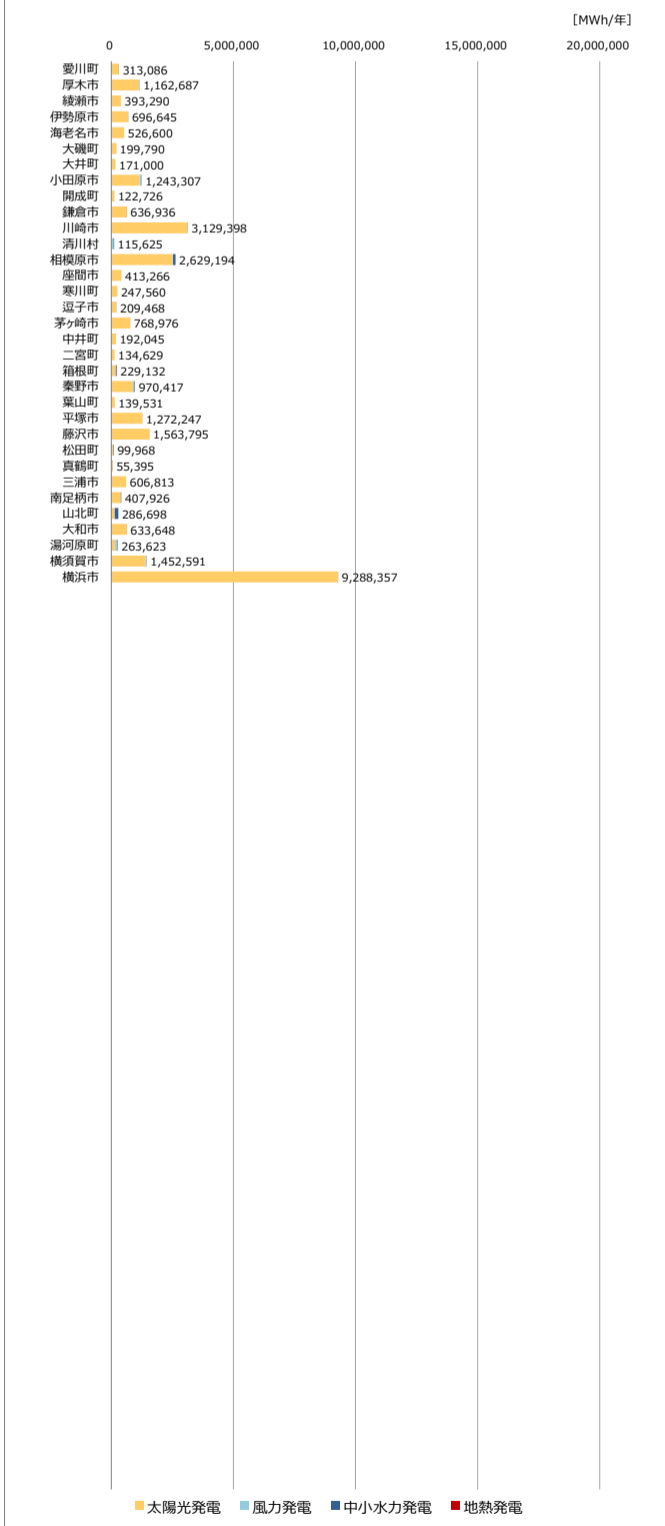
4) 対世帯数FIT・FIP太陽光発電 (10kW未満) 導入比の比較



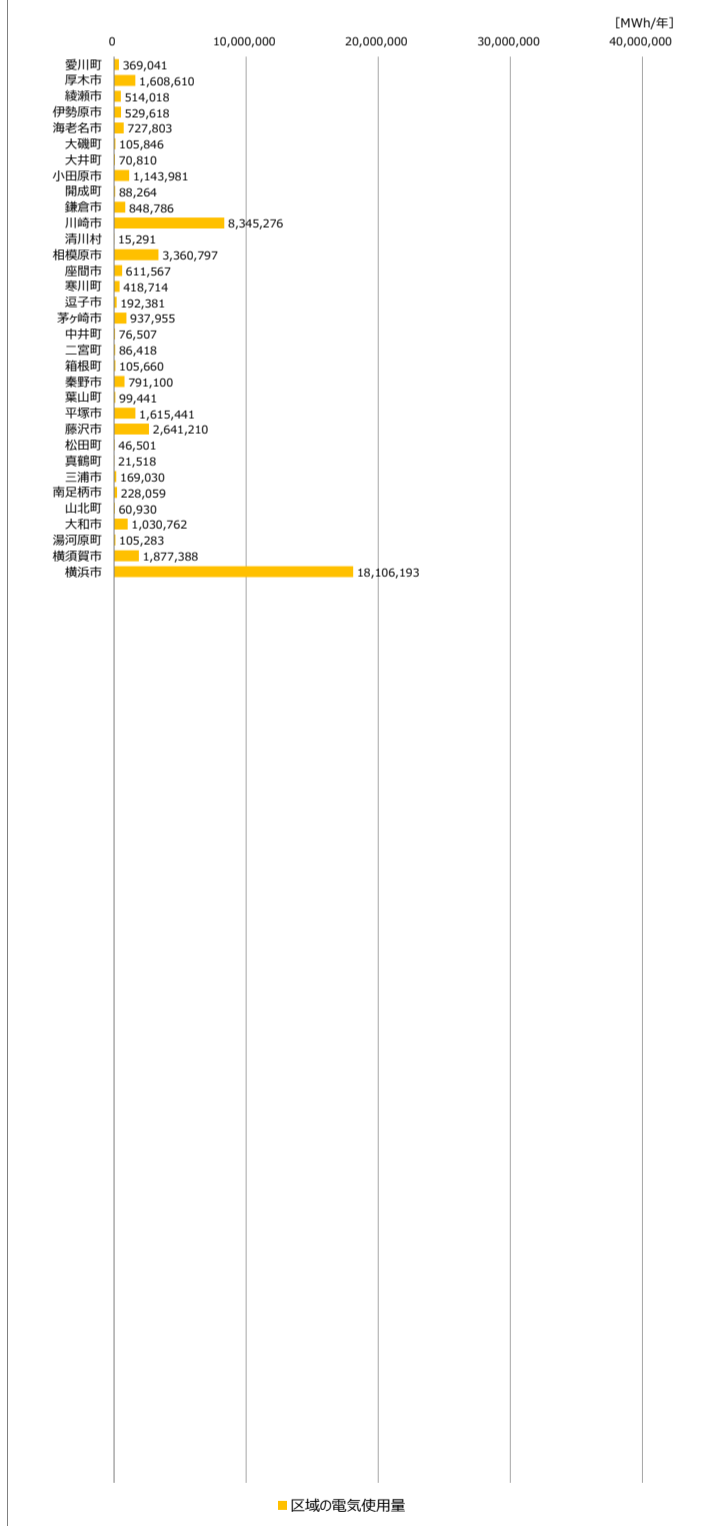
対世帯数FIT・FIP太陽光発電 (10kW未満) 導入比  
 = (区域の太陽光発電 (10kW未満) 設備の導入件数) / (区域の世帯数)

2 再エネ導入ポテンシャルの比較

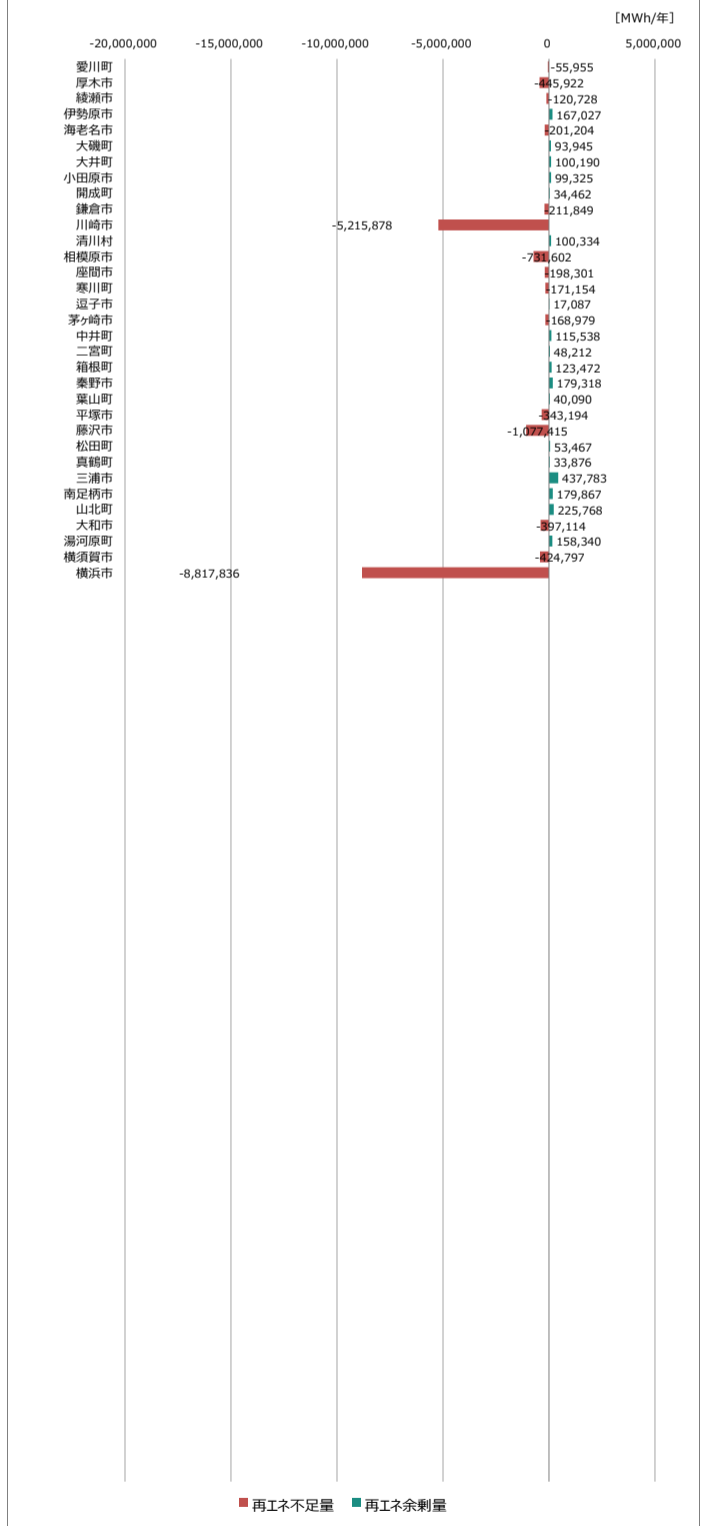
5) 同一都道府県内における他の地方公共団体の再エネポテンシャル (発電電力量) の比較



6) 同一都道府県内における他の地方公共団体の電気使用量の比較



7) 同一都道府県内における他の地方公共団体の再エネ不足量・余剰量の比較



特定事業所集計表  
横浜市

大分類	日本標準産業分類（平成25年10月改定）（平成26年4月1日施行）		特定事業所数〔箇所〕											特定事業所排出量〔千t-CO <sub>2</sub> 〕										
	中分類	細分類	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			(2012年度)	(2013年度)	(2014年度)	(2015年度)	(2016年度)	(2017年度)	(2018年度)	(2019年度)	(2020年度)	(2021年度)	(2022年度)	(2012年度)	(2013年度)	(2014年度)	(2015年度)	(2016年度)	(2017年度)	(2018年度)	(2019年度)	(2020年度)	(2021年度)	(2022年度)
合計			292	293	292	290	279	290	281	281	271	280	285	5,910	6,172	6,150	5,976	5,730	5,715	5,691	5,686	4,733	5,375	5,125
農林水産業																								
建設業・鉱業			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6	6	6	5	5	4	4	5	4	4	4	4
製造業			101	104	103	101	93	100	94	93	85	89	92	1,277	1,387	1,373	1,216	1,163	1,175	1,165	1,129	1,010	1,074	1,083
業務その他部門			178	176	177	176	174	178	175	176	174	179	179	1,607	1,660	1,755	1,786	1,757	1,828	1,823	1,784	1,549	1,605	1,673
エネルギー転換部門			12	12	11	12	11	11	11	11	11	11	13	3,020	3,119	3,017	2,968	2,806	2,708	2,699	2,767	2,170	2,692	2,365
分類不能																								
A 農業、林業																								
B 漁業																								
C 鉱業、採石業、砂利採取業																								
D 建設業			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6	6	6	5	5	4	4	5	4	4	4	4
E 製造業			103	106	104	102	94	101	95	94	86	90	94	3,517	3,733	3,526	3,350	3,187	3,140	3,120	3,146	2,482	3,041	2,803
F 電気・ガス・熱供給・水道業			28	28	28	29	28	28	28	28	29	29	30	972	965	1,054	1,024	962	918	911	914	858	852	790
G 情報通信業			28	26	25	25	22	24	23	23	23	19	308	335	294	273	220	250	229	243	237	233	222	
H 運輸業、郵便業			6	7	7	7	7	8	8	7	7	7	8	25	30	30	28	28	33	32	30	26	26	32
I 卸売業、小売業			33	27	27	25	26	26	24	23	21	21	21	147	140	221	141	136	125	117	111	96	99	96
J 金融業、保険業			6	5	5	5	5	6	9	11	12	11	30	27	41	38	36	38	55	52	54	59	52	
K 不動産業、物品賃貸業			36	37	37	37	36	33	32	32	30	32	34	230	240	235	231	230	203	192	184	149	161	191
L 学術研究、専門・技術サービス業			5	5	5	5	7	7	6	6	8	8	8	51	56	54	44	52	51	47	46	54	52	48
M 宿泊業、飲食サービス業			6	8	8	8	8	7	7	8	8	9	10	48	63	62	60	58	53	52	53	42	49	58
N 生活関連サービス業、娯楽業			3	4	5	6	6	6	6	6	5	5	5	11	16	18	20	20	21	22	21	14	17	16
O 教育、学習支援業			14	15	15	15	14	14	14	14	14	14	14	112	129	128	118	117	117	111	98	106	109	
P 医療、福祉			14	14	14	14	14	17	17	17	17	17	17	87	90	88	90	92	117	110	107	109	107	108
Q 複合サービス事業																								
R サービス業（他に分類されないもの）			7	8	9	9	9	10	9	6	8	9	10	352	327	380	542	576	633	671	294	491	552	581
S 公務（他に分類されるものを除く）			2	2	2	2	2	2	2	7	3	3	3	14	14	14	13	11	12	370	18	17	14	
T 分類不能の産業																								

■部門と日本標準産業分類との対応は以下のとおりです。  
 ・製造業：E製造業(エネルギー転換部門の細分類除く)  
 ・建設業・鉱業：C鉱業、採石業、砂利採取業、D建設業  
 ・農林水産業：A農業、林業、B漁業  
 ・業務その他部門：F電気・ガス・熱供給・水道業～S公務(エネルギー転換部門の細分類除く)  
 ・エネルギー転換部門：E製造業の1711：石油精製業、1731：コークス製造業、F電気・ガス・熱供給・水道業の3311：発電所、3312：変電所、3411：ガス製造工場、3511：熱供給業  
 ・中分類（17、33、34、35）はエネルギー転換部門を含んでいます。（エネルギー転換部門の細分類コード分は内訳表示のみ。）  
 ・大分類（E：9～32の合計）（F：33～36の合計）はエネルギー転換部門を含んでいます。（エネルギー転換部門の細分類コード分は内訳表示のみ。）